



野外クラシックコンサートで、バイオリニストの水野紗希さん、ギタリストの山下俊輔さんと演奏したいです。



俳優/大府市広報大使
清水 くるみ

バイオリンの音色があふれるまち

市長 日本で初めてバイオリンの量産化に成功し、日本のバイオリン王と呼ばれた鈴木政吉は、1930年、名古屋市に「鈴木バイオリン」を創業しました。1935年には、大府市横根町に分工場を建設し、隣には政吉がバイオリンの音色を研究する済韻研究所もあったそうです。2021年に鈴木バイオリンの本社工房を大府市に誘致したことをきっかけに、音楽・バイオリンの音色が市民の心に響くまちづくりを進めています。

世界で活躍するバイオリニスト・竹澤恭子さんによる中学校訪問コンサート、同じく大府市出身のバイオリニスト・水野紗希さん作曲の大府市公式イメージ曲の発表、小学4年生のバイオリン授業、公民館でのバイオリン講座、野外クラシックコンサートなどさまざまな取り組みを進めています。

清水 私も幼稚園から小学5年生まで、当時は大府駅前にあったスズキ・メソッドでバイオリンを習っていました。ギターやピアノは比較的身近ですが、小学校の授業でバイオリンを体験できるのは貴重ですね。こどもの頃から芸術に触れることで、豊かな感性を育むことができると思います。しかも、無料で受けることができたらうれしい。

市長 こどもたちは「バイオリンに触っていい」と聞くと、びっくりします。

柳 そうですね。私が今小学生だったら喜んでバイオリンを弾きます。こどもの頃、友人がバイオリンを習っていたので触らせてもらいましたが、バイオリンを身近に感じるという環境は大府市ならではのようです。

市長 児童センターにもバイオリンを数丁置いていますし、2024年に結成したおおぶジュニア弦楽団に市制55周年記念式典で演奏してもらうことを予定しています。

清水 実は先日、もう一度バイオリンを購入したんです。バイオリニストで広報大使の水野紗希さんに習いたいなと思います。



大府市長 岡村 秀人

鈴木政吉が日本のバイオリンの里を夢見たように「音楽のまち・バイオリンの里おおぶ」を実現します。

「健康都市おおぶ」の今

市長 大府市は「健康都市」として着実に人口が増加し、最近は豊かな自然・産業・住環境の調和がとれたまちの印象も根付いてきました。2024年7月に発表された公示地価では、住宅地・商業地の平均変動率が県内1位という大変光栄な評価もいただいています。

清水 名古屋駅まで電車で約15分とアクセスが良く、住みやすいまちとしても選ばれていますよね。緑も豊かでとても住みやすいと思います。

柳 住宅街の中に公園が多いので、遊びに行きやすく、親も安心していたと思います。他にも、大府市はぶどう狩りやいちご狩りがあって、自然が豊かな印象があります。

市長 現在も市の半分は緑が広がっています。大府市は、こどもだけでなく高齢者への支援にも力を入れています。自分らしく年齢を重ね、幸せを実感できる高齢者を「幸齢者」と定義付け、「健康寿命」と社会と地域で感謝される「貢献寿命」の延伸に注力しています。

また、国立長寿医療研究センターとの連携による運動プログラム、認知症ヘルプマークなどの取り組みにより、認知症を予防できるまち、認知症になっても安心して過ごせるまちづくりを推進しています。

柳 私の親が高齢者といわれる年齢に近づいてきているので、認知症になる可能性がゼロではないです。親とは離れて生活していますが、大府市であれば安心して暮らせるなと思います。

清水 2024年に大府市が舞台の認知症をテーマとしたドラマ『忘れっぽいハムレット』に出演したのですが、振り返ると認知症に優しいまちを知ってもらう良い機会だったと思いますね。

広報大使として今後やりたいこと

市長 今後、広報大使としてやってみたいことはありますか？
清水 吉田保育園で園児と過ごした時間が楽しかったので、おもちゃ美術館が完成したときには、こどもたちとの触れ合いの場があると嬉しいです。美術館へのアイデアも出したいですね！

柳 私は犬が好きなので、譲渡会や動物と触れ合うイベントを大府市でやりたいです。動物を飼うことをためらう高齢者の方が多いと思いますが、お世話による認知症予防や野良猫などの増加防止にもつながると思っています。

市長 実は、動物と共生するまちづくりのために、2021年に「大府市人と犬及び猫との共生に関する条例」を制定しました。野良猫が発生しないよう、市民団体の活動に協力したり、ペット後見に関する相談支援を行ったりしています。

柳 ぜひ私もその活動に参加させていただきたいです！

市長 お二人には今後も広報大使として、大府市の魅力を伝えていただきたいです。同時に私たち市民も「大府市出身の素晴らしい俳優がいるんだよ」と自慢して、二人の活躍を応援していきます。また、同じように若くして活躍しているチェリストの佐藤桂菜さん、ピアニストの進藤実優さんを含めた皆さんで、これからの大府を盛り上げてほしいです。



俳優/大府市広報大使 柳 美稀

こどもの頃、げんきの郷には母親とよく一緒に行きました。温泉に入ったり、焼き芋を食べたりしましたね。